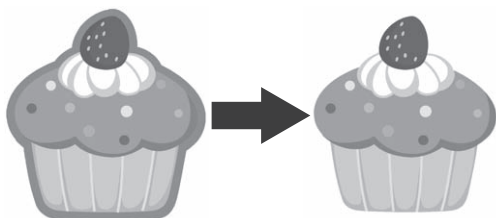


① JA バージョン 2.2 追加機能

# 「ダイレクトカット」の追加機能

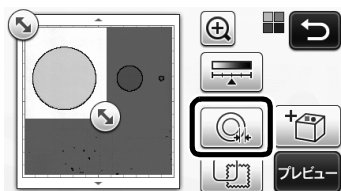
## 内側オフセットを設定する

模様のアウトラインから内側にカットする距離を設定できます。例えば、下図のように輪郭線の少し内側をカットしたステッカーを作ることができます。

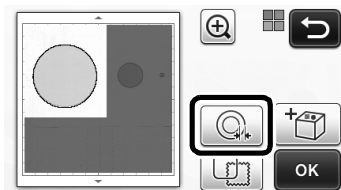


① 画像トリミング画面で を押します。

- グレースケール認識モードのとき

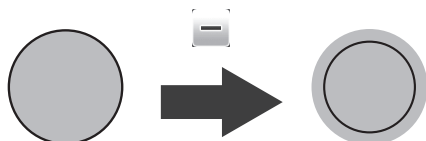
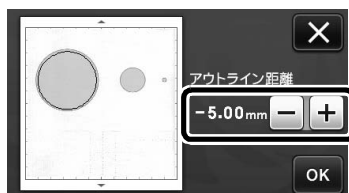


- カラー認識モードのとき



▶ 設定画面が表示されます。

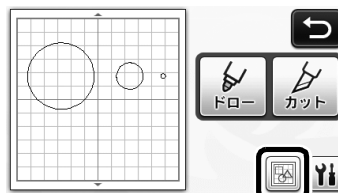
② を押して、設定を変更します。



## 不要な模様（点／線など）を除去する

「ダイレクトカット」モードでスキャンした画像から、不要な模様（点／線など）を削除してからカットできます。

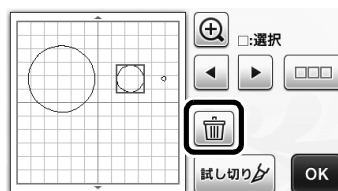
① ドロー／カット選択画面で を押します。



② 削除したい模様を選択します。削除する模様  
の選択方法については、取扱説明書の  
「模様を選択する」を参照してください。

▶ 選択した模様が赤い枠で囲われます。

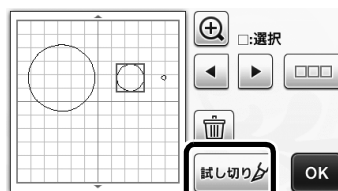
③ を押して、選択した模様を削除します。



## 試し切りをする

「ダイレクトカット」モードで素材をスキャンした後、試し切りができます。試し切りについては、取扱説明書の「試し切りをする」を参照してください。


① レイアウト編集画面で を押します。



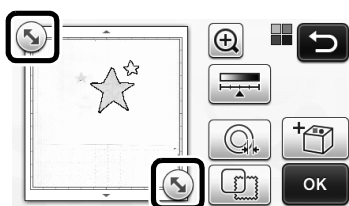
## グレースケール認識モードのプレビュー画面表示

「カットデータ作成」と「ダイレクトカット」をグレースケール認識モードでスキャンしたとき、画像のトリミング後にプレビュー画面が表示されます。

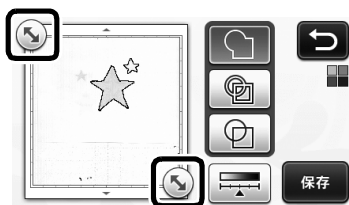
### ■ トリミングする範囲を選択する

① 画像トリミング画面で、タッチペンで  をドラッグして、取り込みたい画像のサイズにトリミングします。

- 「ダイレクトカット」のとき

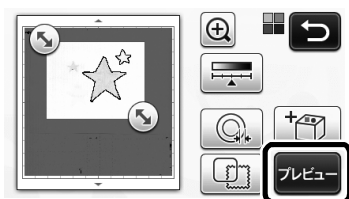


- 「カットデータ作成」のとき

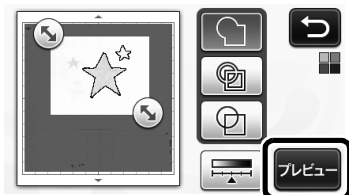


② 「プレビュー」キーを押して、トリミングした範囲を確認します。

- 「ダイレクトカット」のとき



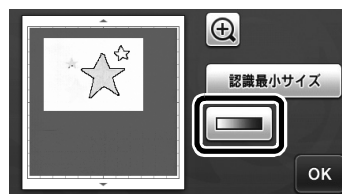
- 「カットデータ作成」のとき





③ 「OK」キーを押して設定を適用します。

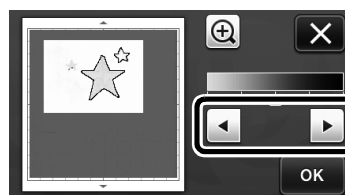
### ■ 画像検出レベルを調整する

① 機能選択画面で  を押して、画像検出レベルを設定する画面を表示します。

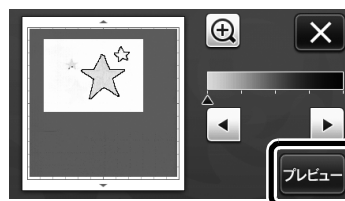


②  または  を押して、しきい値を設定します。

- 詳しくは、取扱説明書の「画像検出レベルを設定する」を参照してください。



③ 「プレビュー」キーを押して結果を表示します。



④ 「OK」キーを押して設定を適用します。

## ドロー機能で模様を塗りつぶす／アウトラインを太くする



お願い



- 素材やペンによっては、塗りつぶしたときに素材がマットからはがれにくくなったり、素材がやぶれたりすることがあります。実際に使用する模様で、試し書きをしてください。



お知らせ

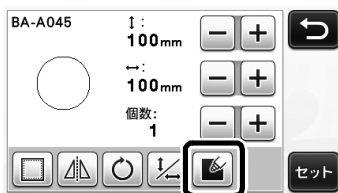
- 閉じていない模様は塗りつぶしできません。  
例：



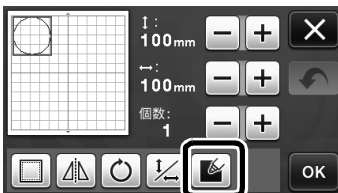
- 塗りつぶしの設定は、にして模様レイアウト画面に配置した模様すべてに適用されます。
- 模様パーツ編集画面でが表示されているときは、アウトラインのみ設定されます。
- 1つの模様に対して、塗りつぶしとアウトラインの設定を同時に行うことはできません。

## ■ 模様の内側を塗りつぶす

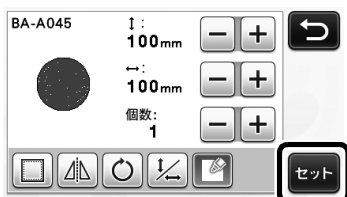
- ① 模様パーツ編集画面でを押します。



- 塗りつぶしの設定は、模様編集画面でも設定できます。文字模様の塗りつぶし設定は、模様編集画面で行ってください。

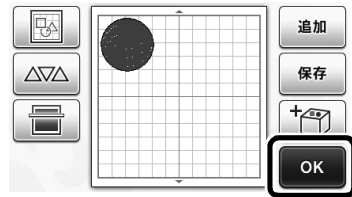



- ② 「セット」キーを押して模様レイアウト画面に模様を配置します。




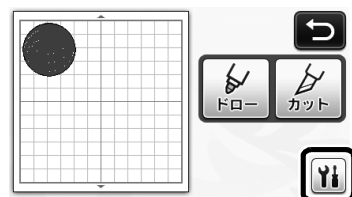
- ③ 「OK」キーを押してドロー／カット選択画面を表示します。

- ドロー機能について詳しくは、取扱説明書の「ドロー機能」を参照してください。



- ④ を押して、塗りつぶし設定画面を表示します。


操作パネルのを押して、設定画面4ページ「塗りつぶし／追加ライン」からも設定できます。

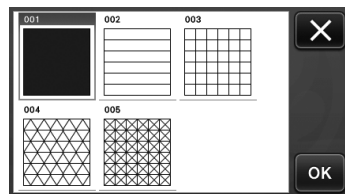


## 設定画面



- ① 塗りつぶしパターン

を押して、模様の内側の塗りつぶしパターンを選択します。



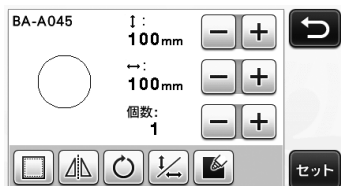
- ② 塗りつぶしライン間隔  
内側を塗るラインの間隔を調整します。


- ③ 塗りつぶし方向  
塗りつぶす方向を調整します。

## ■ 模様のアウトラインを太くする

描く線を追加することで、線を太く見せることができます。

- ① 模様パーツ編集画面で、模様パーツを編集します。



- ② カット/ドロワー選択画面の  を押して、アウトラインの設定画面を表示します。

- キーの表示方法について詳しくは、3ページ「模様の内側を塗りつぶす」の手順②～④を参照してください。

### 設定画面



お願い

- 塗りつぶし設定された模様は「追加ライン」と「追加ライン間隔」の設定は適用されません。塗りつぶし設定については3ページ「ドロワー機能で模様を塗りつぶす/アウトラインを太くする」を参照してください。



### 追加ライン

追加する線の本数を設定します。

### 追加ライン間隔

追加する線の間隔を設定します。



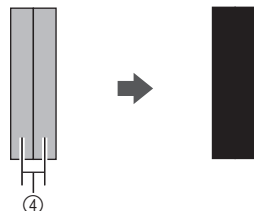
お願い

- 「追加ライン」と「追加ライン間隔」は以下を参照して調整してください。

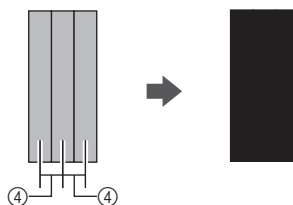
- ① 追加ライン0：ラインを追加しません。



- ② 追加ライン1：ラインを1本追加します。



- ③ 追加ライン2：ラインを2本追加します。



- ④ 追加ライン間隔：ラインの間隔が広すぎると、線と線の間隙ができます。




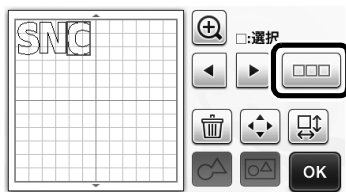
お知らせ

- 使用するペンの太さによってドロワーの結果が異なります。ペンの太さに合わせて調整してください。

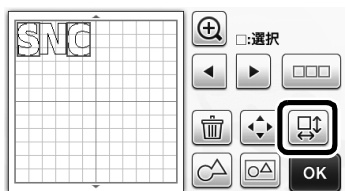
## 複数の模様を反転する

複数の模様を選択して、まとめて反転します。

- ① レイアウト編集画面で  を押して、反転したい模様を選択します。

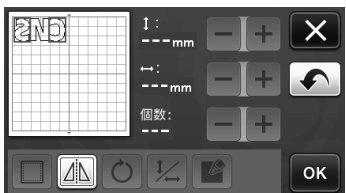
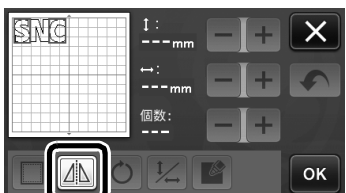


- ②  を押します。



▶ 模様編集画面が表示されます。

- ③  を押します。



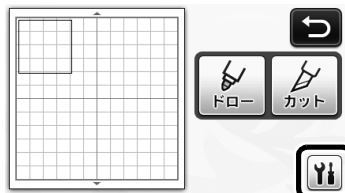
▶ 選択した模様が反転します。

## カット／ドロー画面の追加機能

カットやドロー操作に関する設定や、完了までの時間が表示されます。

### ■ カット／ドロー画面

- ① カット／ドロー画面の  を選択します。

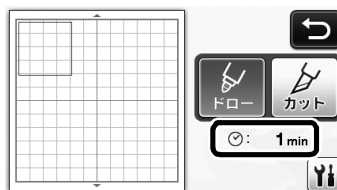


- ② カットまたはドロー圧力やスピードを調整します。



### ■ 時間表示

- ① 「ドロー」または「カット」キーを押します。  
▶ 完了までの時間が表示されます。



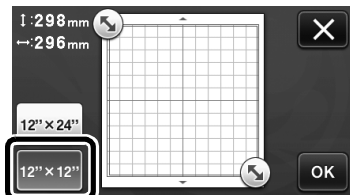
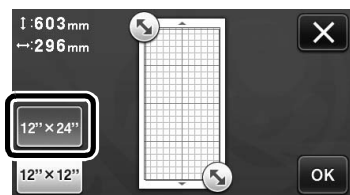
- ② スタート／ストップボタンを押します。  
▶ 完了までの時間とステータスが表示されます。



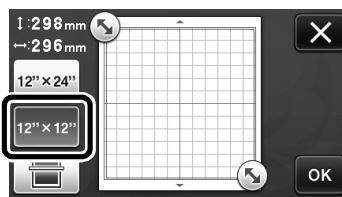
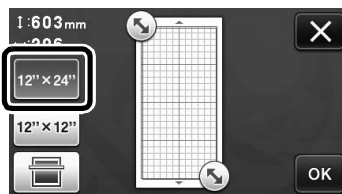
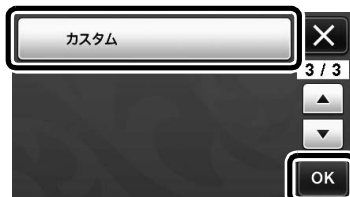
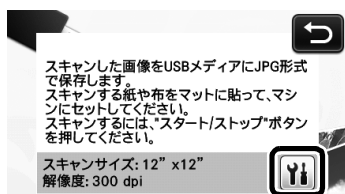
## マットサイズ設定キーの表示

選択中のマットサイズが表示されます。

### ■ 設定画面



### ■ USB に保存




## 拡張機能について

設定画面に別売アクセサリ用の設定キーが追加されました。

### お知らせ

- 本機能をご使用いただくには、別売品が必要です。
- 操作方法について、詳しくは別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。



- を押すと、以下の設定画面が表示されます。「キット認証」を「ON」にすると、別売アクセサリに関する操作ができるように画面が変更されます。別売アクセサリを使用しないときは、「OFF」にしておくことをお勧めします。



## 無線 LAN に関する新機能（対応モデルのみ）

### お知らせ

- 無線 LAN 接続機能搭載モデルのみ使用できません。お使いのマシンが無線 LAN に対応しているか、設定画面 5 ページ「マシンインフォメーション」の「無線 LAN 機能」から確認できます。
- 本機能をご使用前に、ScanNCutCanvas (<http://ScanNCutCanvas.Brother.com/>) への登録及び本体のネットワークへの接続が必要です。登録方法について詳しくは、無線 LAN 接続ガイドを参照してください。

## ScanNCutCanvas を使用した「ダイレクトカット」

ダイレクトカットをするときに、ScanNCutCanvas を使って、本体の液晶画面より大きな画面で画像を編集して、カットデータを作ることができます。

### お願い

- 本機能の使用中に本体の電源を切らないでください。アウトラインのカット位置がずれるおそれがあります。

- 1 スキャンモード選択画面で「ダイレクトカット」を選択します。



- 2 デバイス選択画面で ScanNCutCanvas を押します。

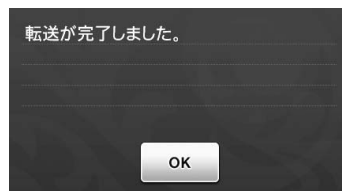


- 3 マットにスキャンする素材を貼りつけます。

- 4 マットを水平に持ちながらマット送りに軽く差し込み、操作パネルの を押します。

- ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。

- 5 スタート/ストップボタンを押してスキャンを開始します。



- ▶ スキャン画像が ScanNCutCanvas へ転送されます。
- ScanNCutCanvas でカットデータに変更してください。ScanNCutCanvas の操作方法については、画面右上の ? をクリックして「ヘルプ」を参照してください。
- ScanNCutCanvas の操作方はヘルプの「画像をトレースする」を参照してください。

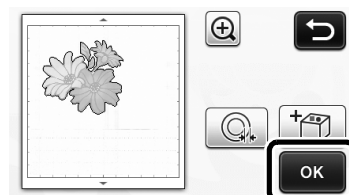
- 6 を押して、カットデータを呼び出します。



### お知らせ

- ScanNCutCanvas を使った操作をしている間は、本体のオートシャットダウンまでの時間が 4 時間に延長されます。

- 7 呼び出された模様を確認して「OK」を押します。



- を押すと、模様のアウトライン距離を設定することができます。

- 8 ドロー/カット選択画面で「カット」を選択します。

- ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。




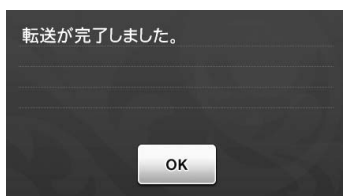
## ScanNCutCanvas に画像を転送する

本体でスキャンした画像を ScanNCutCanvas に転送することができます。データの保存や、ScanNCutCanvas で加工をするときに便利です。

- 1 スキャンモード選択画面で  を押します。



- 2 マットにスキャンする素材を貼りつけます。
- 3 マットを水平に持ちながらマット送りに軽く差し込み、操作パネルの  を押します。
  - ▶ 操作パネルのスタート/ストップボタンが点灯します。
- 4 スタート/ストップボタンを押してスキャンを開始します。





- ▶ スキャン画像が ScanNCutCanvas に転送されました。
- 詳しい ScanNCutCanvas の操作方法については、「ヘルプ」の「画像をトレースする」を参照してください。

## 自動アップデート機能

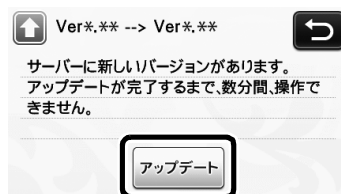
インターネットから本体に直接アップグレードファイルを取得して、アップデートすることができます。

### ■ ホーム画面からアップデートする

- 1 ホーム画面の  を押します。
  - 新しいアップグレードファイルが無いときは、ホーム画面に  は表示されません。



- 2 「アップデート」を押して、ソフトウェアを取得します。



- ▶ アップデートが完了すると、終了メッセージが表示されます。


### 💡 お願い

- アップデート中は電源を切らないでください

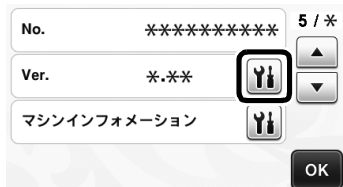
- 3 本体の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。

## ■ 設定画面からアップデートする

### 💡 お願い

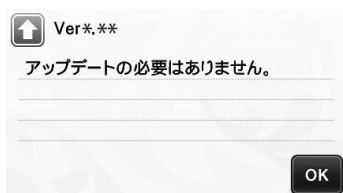
- 設定画面を開く時は、ホーム画面が表示されている状態で  ボタンを押してください。ホーム画面以外が表示された状態ではアップデートできません。

### ① 設定画面 5 ページ「Ver.」の を押します。



### ② アップデートを開始します。

- 「ホーム画面からアップデートする」の手順 ② ~ ③ を参照してください。
  - ▶ 新しいアップグレードファイルが無いときは、以下のメッセージが表示されます。



### 💡 お願い

- 自動アップデートに失敗したときは、ブラザーソリューションセンター (<http://s.brother/cuoab/>) からアップグレードファイルを取得して、USB またはパソコンを使ってアップデートしてください。USB やパソコンを使ったアップデート方法について、詳しくは本体付属の取扱説明書またはソリューションセンターの説明書を参照してください。

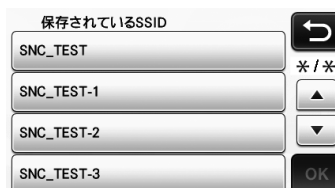
## 無線 LAN の接続設定を最大 12 個まで保存

ネットワーク設定画面で「無線接続ウィザード」を表示したとき、接続可能なネットワークの中から、過去に接続したネットワークに ● が表示されます。● が表示された接続は、ネットワークキー (パスワード) が保存されているため、選択するとネットワークキーなどの接続情報を再入力せずに接続できます。



また、過去にネットワークキー (パスワード) を入力した接続設定は「[Saved SSID]」に保存されます。

- 最大 12 個まで保存できます。



- ▶ 接続設定が表示されます。